

看護学研究科教授会議事録 (11月4日定例)

開催場所	3階 大会議室	開催日時	平成21年11月4日(水) 13:08~14:43
出席者	出席22名/定数22名 (教授) 安齋, 伊藤, 遠藤, 小野, 桑名, 塩野, 関戸, 武田, 土屋, 徳永, 中塚, 長澤, 真覚, 宮林, 山田, 吉田 (准教授) 桂, 荻部, 佐々木, 高橋, 萩原, 原 (事務部) 中村, 佐々木, 小山		
欠席者	(教授) — (准教授) —		(職階50音順・敬称略)
議 事 内 容			
1 開 会			
2 議 事			
【1】報告事項			
(1) 教授会運営会議			
①開催結果について 資料の次第に基づき, 9月9日・28日, 10月14・30日開催されたことが報告された。			
②9月9日開催結果から ・年度計画前期の評価及び非常勤講師報酬・旅費の見積の結果について, 取りまとめた内容を教授会構成員にメールにて報告済である旨説明された。 ・学生の身分にかかわる事項について, 【学籍番号】〇〇〇〇の3月31日まで6ヵ月間の休学延長申請及び【学籍番号】〇〇〇〇の10月1日からの復学申請があり, 学生委員会の審議を経ていずれも承認したことが報告された。			
③9月28日開催結果から ・平成22年度看護学研究科入学選抜試験合格判定会議判定結果について, 14名受験, 12名合格との判定結果を承認し, 定員10名を上回ることから2次募集を行わないこととしたことが報告された。また, 確定議事録は, 教授会構成員あてに10月13日メール送信済であることも報告された。			
④10月14日開催結果から ・学生の身分にかかわる事項について, 【学籍番号】〇〇〇〇から, 9月下旬事務部に9月30日付けでの退学申請相談があったが, 後期期間の開始が迫っていたことから, 急きょ研究科長・学生委員長が直接担当教員から事情を確認し, 学生委員会で審議したところ止むを得ない事情であり退学申請を承認することとされ, 運営会議でも承認されたことが報告された。また, 学生委員長から, 本件に関し次のとおり補足説明と依頼があった。 ・本人からの聞き取りでは, 日々の仕事や家族に関することへ取り組むことの優先順位が, 残り半年で修士論文を提出することより高く, 学費の支払いも他の支払いに優先できないとの主張があり, 10月7日に開催した学生委員会で退学も止むを得ないと判断した。 ・大学院の場合, 退学申請の処理経過に学部とは違い学生委員会が入らない現状は, 十分な調査や検討が出来なく問題があると考え, さっそく院生室に相談ごとがある場合学生委員会に相談するよう案内するPRのチラシを貼り, 今後のこととしては, オリエンテーションの時に同様の案内を行うほか, 教員からも退学などに関する悩み事がある場合, 学生委員会に相談する方法があることを学生に伝えてほしい。			
⑤10月30日開催結果から			
ア 大学院看護学研究科博士後期課程入学選抜試験実施骨子について ・平成21年10月30日付けで, 文部科学省から博士後期課程の設置が認可され, 県政記者会へ記者発表したことが説明された。うち, 試験日については, 早めにアナウンスすべきと考え, 新型インフルエンザ対策としての予備試験日を含んだ他の試験日程を考慮しながら平成21年2月6日(土)に決定し, あわせて発表したことが説明された。 ・本認可後の作業として, 事務部では認可申請内容の文部科学省公表データの作成・送信, 入試委員会では入学選抜試験実施骨子の検討, 教務委員会では履修規程の改正作業・現行修士課程カリキュラム変更作業・履修ガイドの改正作業, 予算・図書・広報委員会では博士課程設置に関する広報をそれぞれ分担して行うことを決定したことが説明された。 ・資料の補正申請書(抜刷)は, 本認可を受けた申請内容の中心的な部分を集め, 構成員にあらためてその内容をじっくり読んでもらうため配付したこと及びその概要について説明された。 ・入学選抜試験実施骨子について, 資料の募集要項案により事務部から現時点での骨子について及び今後, 博士課程設置準備委員会, 教務委員会, 入試委員会及び運営会議などで検討していくことがあわせて説明され, 承認された。また, 募集要項に関して次のような意見が出された。 ・1頁の「2出願資格」中「看護職としての実務経験が通算で5年以上あり,」→「…原則として5年以上…」として認可申請してきたので, 整理する必要がある。 ・1頁の「2出願資格(5)①」中「諸科学の修士」については, 前提はあくまでも修士なので諸科学を削除し, 言葉を揃えるべきである。			

議 事 内 容

- イ 大学院看護学研究科改善経費の使途について
 - ・組織評価で一定評価を得て、配分を受けることとなった経緯と、予算・図書・広報委員会との協議を経て承認した使途について資料により報告された。
- ウ 学位論文審査に係るスケジュール等について
 - ・例年通りのスケジュールだが、昨年まで定例教授会で決定していた審査委員会の設置などについて、今年度から定例教授会が隔月開催になっていることから、一部臨時教授会及び運営会議で決定することを変更点として承認したことが報告された。
 - ・資料のスケジュール等教員・学生への配付資料中の「修士論文」については、学位規程に合わせ、「学位論文」と修正することとされた。
- エ 研究計画書に係るスケジュール等について
 - ・例年通りのスケジュールだが、昨年度まで 2 年生進学後に行っていた研究計画書発表会をスケジュールの最初に行うことを変更点として承認したことが報告された。
- オ 後期履修登録状況について
 - ・資料により履修登録状況を確認し、在籍者で履修登録なしの 2 名について、1 名は後期から復学したため残る特別研究は来年度前期から履修する予定のため、もう 1 名は休学中であるためとの理由についても確認したことが報告された。
- カ 既修得単位の認定について
 - ・【学籍番号】〇〇〇〇から、平成 20 年前期科目等履修生として修得した 2 科目 4 単位について 10 月 6 日付けで既修得単位として認定申請があり、教務委員会承認を経て承認したことが報告された。

【2】その他

- ・資料 7 に記載されている「倫理委員会」の名称は、「看護学部・看護学研究科倫理委員会」の誤りなので修正することとされた。

【3】次回開催日程

- ・次回教授会を平成 22 年 1 月 6 日（水）看護学部定例教授会終了後に開催することとされた。
- ・また、11 月に開催される教授会運営会議の開催日程が連絡され、専門委員長には、この日程に合わせ、委員会運営を行うよう依頼された。

以 上

議事録署名

氏名 武 田 淳 子 印

氏名 桑 名 佳代子 印